

小麦新品種「シロワセコムギ」について

野中舜二・吉田美夫・北原操一・鶴 政夫

田谷省三・荒木 均・牛鷹英夫

(九州農業試験場)

登録番号

小麦農林122号(系統名:西海139号)

来歴

昭和41年12月,九州大学において西海120号(のちのシロガネコムギ)に⁶⁰Coを25KR照射,昭和43年度R₃で派生系統として,以後,選抜固定を図って来た。昭和49年度に「西海139号」と命名し,関係各県の奨励品種決定調査の供試材料として配布し,地域適応性を検討して来た。昭和52年度における世代はR₁₂である。

形態的特性

濃性はやや直立型で,農林61号に比べて約10cm短程で強稈,穂長はやや短い,やや密穂で,小穂着生段数は農林61号程度である。穂型は紡錘型で白稈,粒は農林61号に比べてやや小さい。千粒重はやや軽い,ℓ重は同程度かやや重い。穂数は多く,株の開きは中位である。製粉特性及び粉の品質は農林61号並で,めん用に適する。

生態的特性

農林61号に比べ出穂期で4日,成熟期で3日早い早生種で,耐倒伏性が優れている。収量は農林61号よりやや多く,早生としては多収である。耐病性は縞萎縮病,うどんこ病に強く,赤かび病にも農林61号程度に強いが,赤さび病にはやや弱い。播種程度はIIで,春播型である。

適地及び奨励品種採用県

九州中南部平坦地帯に適し,昭和52年度内に熊本県で奨励品種に採用予定で,当面,約3,000ha程度の普及が見込まれている。早生,短強稈,多収,赤かび耐病性強が主な採用理由である。

栽培上の注意

耐倒伏性に優れるので,多肥栽培すること。

命名の由来

白稈,早生であることを表わす。

シロワセコムギの主要特性

形質		シロワセコムギ	農林61号	試験実施農試名	
生育特性	出穂期(月・日)	4.14	4.18	九州 (昭和45~51)	
	成熟期(月・日)	6.1	6.4		
	稈長(cm)	71	82		
	穂長(cm)	8.9	9.6		
	穂数(本/m ²)	298	288		
子実特性	収量(kg/a)	標準栽培	31.3(104)		30.1(100)
		多肥栽培	36.1(112)		32.3(100)
		ドリル播	33.3(111)		30.0(100)
	ℓ重(g)	763	751		
千粒重(g)	31.9	32.8			
品質	中上~上下	中止			
耐病性等	縞萎縮病	強	やや弱	九州	
	赤銹病	やや弱	やや強	九州,静岡	
	うどんこ病	強	やや強	長崎	
	赤かび病	やや強	やや強	九州,東海近畿,鹿児島	
	穂発芽性	やや難	やや難	九州	
耐倒伏性	強	中			